

みなさまの生活に関わる情報をトピックスとしてお伝えしていきます！

ペダル踏み間違い事故を防ぐ！ 高齢者安全運転支援装置の設置を補助します

愛知県では、令和2年度当初予算の中で、高齢運転者の「後付けの安全運転支援装置(ペダル踏み間違い急発進等抑制装置)」の購入費用について、市町村と協力して助成することとしました。

あま市、蟹江町、大治町、飛島村も歩調を合わせ、すでに事業化しています。

ぜひご活用ください！



コロナ禍で子どもの予防接種控えの動き 予防接種は忘れず受けましょう！

「病院に行くことで、コロナに感染するかもしれない」という不安感から、予防接種を控える動きが、6月議会での我が会派小山議員の一般質問で明らかになりました。

予防接種は、感染症にかかりやすい年齢などをもとに、接種年齢や時期を定めて実施しています。

適切な時期に接種しないと、免疫が十分に獲得できなくなるなど、将来感染症に罹るリスクが高くなり、子どもの将来に不安を残すことになります。

誕生日までといった期間を過ぎてしまった場合でも特例的に延長接種が認められます。

忘れず、早めの接種をしましょう！

※詳しくはお住まいの市町村役所にご相談ください。

県政
キーワード

「あいちトリエンナーレ」



あいちトリエンナーレ…2010年から3年ごと開催されている国内最大規模の国際芸術祭。

昨年の開催は、「表現の不自由展」が物議を醸し、県当局が電凸を受けるなど混乱を招くと同時に公主催の芸術祭のあり方が話題となりました。

6月半ば、テレビでお馴染みの高須クリニック院長の高須克弥氏が、大村知事リコールへ動くとの報道がありました。

「表現の不自由展」はそもそも企画全体の一部であり、しかもこれまで公の場で展示できなかった作品が存在し、それについて皆さんどう思いますか？という問題意識の投げかけに過ぎません。

ただ、その作品選定に偏りやある特定の思想を植え付ける意図があったとすれば、それは運営組織の中で昇華させるべきことであるとは思います。

■補助対象者：65歳以上(令和3年3月31日時点)

■受付期間：令和2年度末まで

■設置した場合の金額シミュレーション

例) 購入設置費(検知機能付) 総額 80,000円
補助金額 国 (1/2) : 40,000円
県と市町村 (2/5) : 32,000円
自己負担 (1/10) 8,000円

※令和2年4月1日以降に設置した方も補助を受けられます。
詳しくはお住まいの市町村役場窓口にご相談ください。

県が実施した 本年4月の予防接種率 <抜粋>

予防接種名	接種時期	接種率(前年比)
MRワクチン (はしか・風疹)	第1期:1~2歳未満	ほとんど差なし
	第2期:就学前1年間	▲25%
2種混合ワクチン (ジフテリア・破傷風)	11~13歳未満	▲39%



人類は、長い歴史の中で、多くの感染症と戦い、それは今回のコロナウィルスをはじめ今もなお続いている。

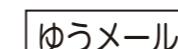
その感染症を予防するための「安全」で「確実性が高い」方法が予防接種で、多くの人の命を救っています。目的は、

『自分を守り、まわりの大切な人を守る』

今の「新しい生活様式」の中で、マスクを着用し手洗いをする感覚と似ていますね。



料金後納



ゆうメール

差出人/返還先(差出発送代行) 6-18
佐川グループパロジスティクス(株)
〒485-0075
小牧市三ツ渕惣作1350
佐川急便(株)中京支社内メールセンター
このお荷物はご依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行しています。

発行 県議会議員 (あま市・海部郡選出)

おぎそ史人 事務所

〒490-1222
あま市木田八反田21コーポエム1・1-C
Tel/Fax 052-718-7050
E-mail: ogiso_f@yahoo.co.jp
HP URL: http://ogiso-web.com/



2020年 夏号 Vol.5

県政アンケート用紙を同封しております。
ご意見をお寄せくださいませ。



1面／いよいよ夏本番！コロナを「正しく理解」し「正しく恐れる」

2面／6月定例議会 質問概要

3面／コロナ対策補正予算概要

4面／トピックス（高齢者運転支援装置 トリエンナーレ etc.）



正直に、まっすぐに、みなさんと「ともに進む」
1977年3月23日生 (43歳)
1995年 愛知県立旭丘高等学校 卒業
2000年 名古屋大学 法学部 卒業
2003年 衆議院議員 岡本みづの 秘書
2013年 豊田合成株式会社 勤務
2019年 愛知県議会議員 初当選

新型コロナウィルス感染拡大を危惧する報道等が多い中、
ウィルスの正体は未だすべてが解明されているわけではなく、
情報が氾濫錯綜し、現段階で確からしいことが良くわからなくなっている方も少なくないはずです。

コロナウィルスを「正しく理解」し「正しく恐れる」ことが、社会の正常化には重要です。そこで今回は、実際に愛知県でコロナ患者を受け入れ、最前線で治療にあたった専門医の方（公立陶生病院 武藤先生 ※TVにも出演）とヒアリングをし、お教いいただいた内容を一部お伝えいたします。【下記表】

過剰な恐怖心は別の社会的身体的病理を引き起こしかねません。夏本番に向け熱中症も気になります。3密でのマスク着用やうがい手洗いをしっかり行うことが1番の対策であることは間違いないようですので、過度に恐れることなく生活してていきましょう！

コロナウィルスを「正しく理解」し「正しく恐れる」ヒント 【公立陶生病院 感染症内科主任部長 武藤先生提供資料抜粋】

●コロナウィルスの病態

“コロナウィルスは「誰もわからない特殊な病気？」ではない！”

- ・高齢者ほどかかりやすく重篤になりやすい
- ・子どもの発症や重症化は極めて少ない(学校内感染は極めて稀)
- ・再陽性は他者への感染性がなく、再燃でもない
- ・ウィルスが感染性を持つ期間は、発症2日前から発症7日後
- ・感染による死亡率は、従来のウィルス性肺炎とそれほど大差なし

飛沫・接触予防策で十分な感染対策となる

●PCR検査論争

- 幅がある
1. 国民全員にするべき
 2. 無症状でも希望者には全員すべき
 3. 咳や熱が出たら、いつでもできるようにすべき
 4. 4日以上続く発熱などの条件においてすべき
 5. 感度が低い(※)ためすべきではない
※感度は70%。闇雲な検査は、ハズレが出る確率を上げてしまう。

陽性者把握に有用。疑わしい患者に実施できる体制があれば十分。

●私たちの行っている感染対策の実際

対策	効果	
	自分を守るため	まわりを守るため
手洗い・手指衛生	◎	◎
咳工チケット	△	◎
不要不急の外出を避ける	○	○
マスク着用	△(無症状時)	◎(有症状時)
十分な食事と睡眠	○	○
体調不良時は家で休む	○	◎
軽い症状でもすぐ病院へ	×	×

●PCR検査件数の減少による危険なロジックの存在

- 患者の減少という安心感と病気に対する慣れ
医師：もう下火だから患者も減っているし検査しなくていいだろう。
患者への差別や偏見
住民：コロナは心配、でももし陽性になつたら近所やマスクから。。。
・無意識のうちに社会全体が検査を抑制する流れ
・水面下で患者が増加、静かに広まり、老人ホーム等で一気に顕在化
大事なことは、有症状患者の検査アクセスを容易にすること。
患者に対して差別・偏見・誹謗中傷をしない、萎縮させないこと。



6月定例議会 新政あいち県議団 代表質問要旨

代表質問① 経済対策

Q 県内企業の経済活動の自粛に伴う本県経済の停滞をどのように回復につなげていくのか?

知事
景気は厳しい環境にあり、事業継続と雇用の維持を図る取り組みに全力を挙げている。
感染症対策は長期戦。デジタル化・オンライン化自動化など、将来の感染リスクにも対応できる取り組みを加速し、安定的な成長軌道に戻すための施策を進めていきたい。

代表質問② 中小企業のBCP対策

Q 県内企業の感染症対策のための事業継続計画(BCP)について、どのように策定を促進するのか?

知事
コロナ禍を受け、感染症対策に特化した中小企業向けの県独自のBCPモデルを新たに策定する。
策定にあたっては、有識者会議を設置し、テレワークをはじめとした「新たな働き方」の導入などの具体的な対応策を盛り込んでいく。
◎ モデルの公表時期:本年秋頃

代表質問③ オンライン学習の推進

Q 県教育委員会は、県下市町村教育委員会に対してどのように支援していくのか?

教育長
ICT基盤整備は着実に進んでいるが、これらを活用した学習支援に自治体間格差が生じている。
差を解消するため、「ICTを活用した新しい授業モデル」を具体的に示していきたい。
◎ 県内小中生 1人1台端末達成見込
2021年度末
(20年度:41万台、21年度:15万台)

農林水産委員会での一般質問要旨

①「食と緑の基本計画2020」について

Q. 現計画の進捗状況（数値目標の達成状況）
A. 概ね順調に進捗（36指標中24指標 目標達成）
但し、「新品種の開発件数」等3項目が達成率80%未満
Q. 次期計画の課題認識と策定までのスケジュール感
A. 7月に有識者会議を設置、10月素案公表、12月策定予定

「食と緑の基本計画」は県農政全般の骨となるもの。5年もたば環境も背景も変わります。
現状をしっかりと把握し、県農政の未来のあるべき姿をしっかり捉えた計画素案の策定を要望しました。

② 種苗法改正案の県への影響

Q. 県農業総合試験場の開発品種の種苗法上の位置づけ
A. すべて登録。現在34品種。出願中が8品種。
Q. 愛知県の種苗育成者権が侵害された事例
A. 海外流出事例は認知していない。国内では稀に発生。
Q. 種苗法改正案が生産者に与える影響
A. ない。（現行法下でも許諾契約等で権利保護している）

種苗法改正については、ネット上でも賛否両論。ニュートラルな立場で、まずは現状を冷静に正しく理解することが必要です。

新政あいち県議団の質問録画は [愛知県議会](#) で [検索](#) ぜひ一度ご覧ください！

**質問者: 新政あいち県議団
総務会長 朝倉浩一議員(半田市選挙区)**

代表質問④ 安心な外来診療の受診体制

Q 第2波到来に備え、すべての患者が安心して外来診療を受けられるよう、どのように取り組むのか?

知事
外来受診時に感染者と非感染者の接触を避ける必要がある。そのために各医療機関における院内感染対策に必要な支援を行っていく。
オンライン診療も有用。対面診療と併せてそれぞれ特性や長所を理解したうえでの受診の普及啓発に努めていきたい。
◎ 県内オンライン診療導入医療機関数:1,000か所

代表質問⑤ コロナ禍での防災体制の確保

Q 感染症発生下においても、迅速かつ的確に対応する防災体制をどのように確保していくのか?

知事
これまで感染防止に留意した上で、初動対応に必要な研修を実施。今後も災害対策本部や方面本部において情報収集・指揮等の訓練を実施していく。
市町村の支援体制についても、避難所の感染防止対策の普及や運営訓練等、県全体の災害対応力の維持・強化に努めていく。

代表質問⑥ 特殊詐欺被害への対策

Q コロナ禍に乘じた給付金詐欺や悪質巧妙化する特殊詐欺被害を未然に防ぐ取り組みは?

県警
SNSでの動画配信や商業施設の店内放送による注意喚起啓発を実施。金融機関を含め関係機関と連携しつつ特殊詐欺の被害防止対策を推進していく。
◎ 65歳以上の被害者が多く、全体の約87%!

項目	本年実績5月末時点	前年同期比
被害認知件数	307件	+80件
被害総額	7億4,600万円	+4億1,400万円

6月定例議会で可決された主な予算内容は 以下の通りです。【コロナ対策中心】

**医療機関や医療従事者を支援します
《予算額 669億2,415万円》**

- 重点医療機関(県内15か所を想定)の強化**
◎コロナ患者のための空床確保
◎高度医療設備(気管支ファイバー等)の導入支援
- 救命・2次救急・周産期・小児医療機関への支援**
◎院内感染防止のため設備整備費への支援
◎診療体制確保のための支援金の支給
- 病院・診療所(歯科含む)・薬局への支援**
◎院内感染防止や診療体制確保のために要した経費に上限付き補助金を交付
※上限例 無床診療所 100万円 薬局 70万円
- 不安を抱えた妊産婦への支援**
◎分娩前のPCR等のウィルス検査
経費を支援(上限額 2万円)
- 医療従事者へ慰労金を支給**
◎すべての医療従事者に
5~20万円/1人を支給
※常勤・非常勤・派遣・事務職員等問わず

**社会福祉施設やその従事者を支援します
《予算額 353億1,287万円》**

- 介護・障害者・救護施設職員へ慰労金を支給**
◎すべての職員に5万円又は20万円/1人を支給
※常勤・非常勤・派遣・事務職員等問わず
- 保育所等民間児童福祉施設に応援金を交付**
◎1施設あたり 10万円を交付(県単独)
※市町村による応援金の交付は任意
- コロナ発生等の緊急時における施設間の応援職員の派遣が可能となる協力体制の構築**
◎対象:介護施設間と障害者施設間(特に入所)
◎各関係団体にコーディネート事業として委託
- 施設による消毒液やマスク等の衛生用品の購入経費を支援**
- 施設向けの消毒液やマスク等の衛生用品を県として備蓄**
- 感染防止対策やメンタルヘルスに関する相談窓口の設置**

**子どもの学びを保障します
《予算額 32億3,210万円》**

- 少人数指導や補習を行う①非常勤講師や②学習指導員、③スクールサポートスタッフを追加配置**
※市町村が事業を実施した場合に支援
- 部活動全国大会の代替大会の開催を支援**
◎補助額 50万円/1競技
※野球 :7/4~8/2
その他:7~8月 29競技

**企業等の経済活動を支援します
《予算額 56億2,131万円》**

- がんばる中小企業者、商店街の活性化を支援**
◎新商品の開発・販路拡大に補助
◎クラウドファンディングを活用した取組支援
◎市町村が実施するプレミアム商品券発行事業に対する支援(民間負担不要、補助率1/2)
- 通販サイトを活用した愛知県産の観光物産品や農林水産物の販売促進支援**
◎県が通販サイトに仮想店舗を出店し販売
◎商品価格の割引や送料無料などを実施予定
- 県民の県内旅行商品の割引を実施**
◎旅行会社等が企画する商品代金の割引助成
◎割引率:商品の1/2相当分(最大1万円/1回)
- 就職活動や中小企業等へのテレワーク導入支援**
- 漁業者への支援金給付と資金繰り支援**
◎20万円/1漁業者

**生活に困っている方たちを支援します
《予算額 46億1,317万円》**

- ひとり親家庭に臨時特別給付金を支給**
◎5万円/1世帯 第2子以降3万円/1人追加
◎収入減少世帯はさらに5万円/1世帯加算
- コロナ禍による収入減少等でお困りの世帯への貸付制度や給付金制度を拡充**
※ご相談はお住まいの市町村役所窓口へ